

調査名	患者調査
URL	<a href="http://www.mhlw.go.jp/toukei/list/10-17.html">http://www.mhlw.go.jp/toukei/list/10-17.html</a>
調査の頻度	3年毎
最新調査年	平成17年
調査の目的	この調査は、病院及び診療所（以下「医療施設」という。）を利用する患者について、その傷病状況等の実態を明らかにし、医療行政の基礎資料を得ることを目的とする。
調査の沿革	その前身は昭和23年11月に1週間にわたって実施された「施設面からみた医療調査」である。その後、おおむね毎年調査が実施され、昭和28年には統計法に基づく指定統計第66号「患者調査」となった。患者調査は、患者の診療録の内容に基づく1日調査として毎年実施されたが、昭和59年からは、調査内容を充実し地域別表章が可能となるよう客体数を拡大し、3年周期で実施することとなった。
調査の対象及び客体	全国の医療施設を利用する患者を対象とし、層化無作為により抽出した医療施設における患者を客体とした。
調査の方法及び系統	医療施設の管理者が記入する方式によった。
調査の期日及び期間	病院については、平成17年10月18日～20日（火～木）の3日間のうち病院ごとに指定した1日とし、診療所については、平成17年10月18日（火）、19日（水）、21日（金）の3日間のうち診療所ごとに指定した1日とした。なお、診療所については、今回は調査日を休診の多い木曜日を避け、火曜日、水曜日及び金曜日に変更した。
調査事項	性別、出生年月日、患者の住所、入院・外来の種別、受療の状況等
結果の集計	厚生労働省大臣官房統計情報部において行った。
調査票等	なお、医療施設に関する情報の一部は平成17年医療施設静態調査の結果を用いた。 次ページに添付（平成20年度）
集計客体数	施設数：病院6,594（抽出率：入院7.3/10、外来3.8/10）、一般診療所5,806（抽出率：8.5/100）、歯科診療所1,275（抽出率：2/100） 客体数：病院入院・外来212.8万人、病院退院92.5万人、一般診療所入院・外来：27.7万人、一般診療所退院1.1万人、歯科診療所2.8万人
他の調査との関連	
関連情報URL	ぜん息等患者調査（環境再生保全機構） <a href="http://www.erca.go.jp/asthma2/library/statistic/patient.html">http://www.erca.go.jp/asthma2/library/statistic/patient.html</a> 平成20年に実施される医療施設調査及び患者調査の改正内容（内閣府統計委員会・第5回人口・社会統計部会配布資料）： <a href="http://www5.cao.go.jp/statistics/meetings/jinkou_5/siryou_2-3.pdf">http://www5.cao.go.jp/statistics/meetings/jinkou_5/siryou_2-3.pdf</a>
関連出版物	厚生労働省大臣官房統計情報部編：患者調査 平成17年上巻 全国編、厚生統計協会、2007 厚生労働省大臣官房統計情報部編：患者調査 平成17年下巻 都道府県・二次医療圏編、厚生統計協会、2007 厚生労働省大臣官房統計情報部編：患者調査の年次推移 都道府県別にみた受療率、厚生統計協会、2001
関連論文例	Nango R, Ueno M, Shinada K, Kawaguchi Y: Trends in Dental Utilization and Dental Practice in Japan, <i>Dentistry in Japan</i> 2007, 43:91-94. 古川雅一：喫煙や歯磨き習慣が歯周疾患受療率に与える影響に関する研究。 <i>Health Sciences</i> 2007, 23(1):64-70. Toyokawa S, Kobayashi Y, Ohmori M: A Refined Method for Estimating Medical Expenditures for Liver Disease Using the Patient Survey and Claim Data in Japan. <i>日本公衆衛生雑誌</i> 2005, 52(11):957-961.



指定統計第66号  
患者調査

# 患者調査

厚生労働省

## 病院入院(奇数)票

平成20年10月21日～23日(指定された1日)

記入上の注意

- ※印欄には、記入しないでください。
- 500～599床の病院については生年月日の末尾が1、3、5、7日の患者について作成してください。
- 600床以上の病院については生年月日の末尾が3、5、7日の患者について作成してください。

※保健所符号	
施設番号	H-
患者番号	

(1) 性別	1 男 2 女	(2) 出生年月日	1 平成 2 昭和 3 大正 4 明治	年 月 日
(3) 患者の住所	1 病院と同じ市区町村内 2 病院とは別の市区町村 →	都道府県	市 郡	区 町村
(4) 入院年月日等	入院年月日	1 平成 2 昭和	年 月 日	
主傷病とは、「(5)受療の状況」の「(1)主傷病名」に記載される疾患をいいます。	過去の入院の有無	1 有 → 2 無	退院年月日	平成 年 月 日
	主傷病に関連した医療施設における入院であって、退院日が上記入院年月日から起って過去30日以内の場合に属する。(退院日が平成の場合のみ。)			
(5) 受療の状況	1 傷病の診断・治療 2 正常分娩(早胎自然分娩) 3 正常妊娠・産じよくの管理 4 健康者に対する検査、健康診断(表)・管理 5 その他の保健サービス			
主傷病名については、発病の型(例:急性)、病原因(例:細菌性)、部位(例:胃腸門部)、性状(例:病理組織型)等もできるだけ記入してください。  また、複数の傷病に罹患している場合は、原傷病名の中から該当するものすべてを選択してください。  「16 精神疾患」とは、アルツハイマー病を含む認知症、精神作用物質による精神及び行動の障害、統合失調症、統合失調症類似障害及び妄想性障害、気分(感情)障害、神経症性障害、てんかん、その他の精神及び行動の障害をいいます。(ただし「精神遅滞」は除きます。)	(1) 主傷病名	外傷の原因	← 外傷の原因(中毒を含む)	
	(2) 副傷病名(該当するものすべてに○印をつけてください)	01 副傷病なし 02 糖尿病(合併症を伴わないもの) 03 腎尿病(性)腎症 04 腎尿病(性)網膜症 05 腎尿病(性)神経障害 06 糖尿病(性)足病変 07 03～06以外の合併症を伴う糖尿病 08 肥満(症) 09 高脂血症(脂質異常症)	10 高血圧(症) 11 虚血性心疾患 12 脳卒中 13 閉塞性末梢動脈疾患 14 大動脈疾患 (大動脈解離、大動脈瘤) 15 慢性腎不全(慢性腎臓病) 16 精神疾患 17 その他の疾患	不慮の事故 故意又は不明 ① 自動車交通事故 ⑦ 自傷 ② 自転車交通事故 ⑧ 他傷 ③ その他の交通事故 ⑨ 不明 ④ スポーツ中の事故 ⑤ 転倒・転落 ⑥ ①～⑤以外の原因による不慮の事故
(6) 透析治療の状況	1 維持透析治療中 2 その他の透析治療中 3 治療なし 4 不明			
(7) 診療費等支払方法	1 自費診療 (保険外併用療養費を含む) 2 医療保険等、公費負担医療 3 介護保険 (介護扶助を含む)	→ I (医療保険等) 01 全国健康保険協会健康保険(本人) 02 全国健康保険協会健康保険(家族) 03 健康保険組合(本人) 04 健康保険組合(家族) 05 各種共済組合(本人) 06 各種共済組合(家族) 07 国民健康保険  → II (公費負担医療) 14 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律 15 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律 16 生活保護法(医療扶助) 17 その他の公費負担によるもの	08 退職者医療(本人) 09 退職者医療(家族) 10 高齢者の医療の確保に関する法律 11 労働災害・公務災害 12 自動車損害賠償保障法 13 その他	
(8) 紹介の状況	1 病院から 2 一般診療所から 3 歯科診療所から 4 介護老人保健施設から 5 介護老人福祉施設から	6 その他から 7 紹介なし		
(9) 救急の状況	救急 [ 1 救急車により搬送 2 救急外来を受診 3 診療時間外の受診 ] 4 1～3以外			
(10) 病床の種別	精神病床 1 老人性認知症疾患療養病棟 2 その他の精神病床 3 感染症病床 4 結核病床	5 療養病床(医療保険適用病床) 6 療養病床(介護保険適用病床) 7 一般病床		
(11) 入院の状況	1 生命の危険は少ないが入院治療、手術を要する 2 生命の危険がある 3 受け入れ条件が整えば退院可能	4 検査入院 5 その他		



指定統計第66号  
患者調査

# 患者調査

厚生労働省

## 病院外来(奇数)票

記入上の注意

- ※印刷には、記入しないでください。
- 500～599床の病院については生年月日の末尾が1、3、5、7日の患者について作成してください。
- 600床以上の病院については生年月日の末尾が3、5、7日の患者について作成してください。

平成20年10月21日～23日(指定された1日)

※保健所番号	
施設番号	月一
患者番号	

(1) 性別	1 男 2 女	(2) 出生年月日	1 平成 2 昭和 3 大正 4 明治	年 月 日
(3) 患者の住所	1 病院と同じ都道府県内 2 病院とは別の都道府県 → <input type="text"/> 都道府県		※都道府県コード <input type="text"/>	
(4) 外来の種別	初診	1 通院 2 往診		
	再来	3 通院 4 往診 5 訪問診療 6 医師以外の訪問	前回診療(訪問)月日 平成 20 年 月 日	
(5) 受療の状況	1 傷病の診断・治療      2 正常分娩(単胎自然分娩)      3 正常妊娠・産じよくの管理 4 健康者に対する検査、健康診断(表)・管理      5 予防接種 6 その他の保健サービス			
主傷病名については、発病の型(例:急性)、病因(例:高血圧性)、部位(例:胃噴門部がん)、性状(例:病理組織型)等もできるだけ記入してください。  また、複数の傷病に罹患している場合は、副傷病名欄の中から該当するものすべてを選択してください。  「16 精神疾患」とは、アルコール依存症を含む認知症、精神作用物質による精神及び行動の障害、統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害、気分[感情]障害、神経症性障害、てんかん、その他の精神及び行動の障害をいいます。(ただし「精神薬剤」は除きます。)	(1) 主傷病名		外傷の原因 ← 外傷の原因(中毒を含む) 主傷病名が外傷(中毒を含む)の場合は、下欄からその原因を該当する番号で1つ記入してください。	
	(2) 副傷病名(該当するものすべてに○印をつけてください。)		不慮の事故      故意又は不明 ① 自動車交通事故      ⑦ 自傷 ② 自転車交通事故      ⑧ 他傷 ③ その他の交通事故      ⑨ 不明 ④ スポーツ中の事故 ⑤ 転倒・転落 ⑥ ①～⑤以外の原因による不慮の事故	
01 副傷病なし		10 高血圧(症)		
02 糖尿病(合併症を伴わないもの)		11 虚血性心疾患		
03 糖尿病(性)腎症		12 脳卒中		
04 糖尿病(性)網膜症		13 閉塞性末梢動脈疾患		
05 糖尿病(性)神経障害		14 大動脈疾患		
06 糖尿病(性)足病変		15 慢性腎不全(慢性腎臓病)		
07 03～06以外の合併症を伴う糖尿病		16 精神疾患		
08 肥満(症)		17 その他の疾患		
09 高脂血症(脂質異常症)				
(6) 透析治療の状況	1 維持透析治療中      2 その他の透析治療中      3 治療なし      4 不明			
(7) 診療費等支払方法	1 自費診療(保険外併用療養費を含む) → I (医療保険等) 2 医療保険等、公費負担医療 → I (医療保険等) 3 介護保険(介護扶助を含む) → I (医療保険等) I (医療保険等) 01 全国健康保険協会等健康保険(本人)      08 退職者医療(本人) 02 全国健康保険協会等健康保険(家族)      09 退職者医療(家族) 03 健康保険組合(本人)      10 高齢者の医療の確保に関する法律 04 健康保険組合(家族)      11 労働災害・公務災害 05 各種共済組合(本人)      12 自動車損害賠償保障法 06 各種共済組合(家族)      13 その他 07 国民健康保険 II (公費負担医療) 14 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律 15 障害者自立支援法 16 生活保護法(医療扶助) 17 その他の公費負担によるもの			
(8) 紹介の状況	1 病院から      2 一般診療所から      3 歯科診療所から      4 介護老人保健施設から 5 介護老人福祉施設から      6 その他から      7 紹介なし			
(9) 救急の状況	救急 [ 1 救急車により搬送      2 救急外来を受診      3 診療時間外を受診 ]      4 1～3以外			



指定統計第66号  
患者調査

# 患者調査

病院(偶数)票

平成20年10月21日～23日(指定された1日)

厚生労働省

記入上の注意

- ※印欄には、記入しないでください。
- 500～599床の病院については生年月日の末尾が0, 2, 4, 6, 8, 9日の患者について作成してください。
- 600床以上の病院については生年月日の末尾が0, 1, 2, 4, 6, 8, 9日の患者について作成してください。

※保健所符号	
施設番号	日一
調査票番号	

どちらかに○をつけてください

1 入院	2 外来
------	------

患者番号	性 別	出 生 年			月 日			
		1 平成	2 昭和	3 大正	4 明治	年	月	日
1	1 男 2 女	1 平成	2 昭和	3 大正	4 明治	年	月	日
2	1 男 2 女	1 平成	2 昭和	3 大正	4 明治	年	月	日
3	1 男 2 女	1 平成	2 昭和	3 大正	4 明治	年	月	日
4	1 男 2 女	1 平成	2 昭和	3 大正	4 明治	年	月	日
5	1 男 2 女	1 平成	2 昭和	3 大正	4 明治	年	月	日
6	1 男 2 女	1 平成	2 昭和	3 大正	4 明治	年	月	日
7	1 男 2 女	1 平成	2 昭和	3 大正	4 明治	年	月	日
8	1 男 2 女	1 平成	2 昭和	3 大正	4 明治	年	月	日
9	1 男 2 女	1 平成	2 昭和	3 大正	4 明治	年	月	日
10	1 男 2 女	1 平成	2 昭和	3 大正	4 明治	年	月	日
11	1 男 2 女	1 平成	2 昭和	3 大正	4 明治	年	月	日
12	1 男 2 女	1 平成	2 昭和	3 大正	4 明治	年	月	日
13	1 男 2 女	1 平成	2 昭和	3 大正	4 明治	年	月	日
14	1 男 2 女	1 平成	2 昭和	3 大正	4 明治	年	月	日
15	1 男 2 女	1 平成	2 昭和	3 大正	4 明治	年	月	日
16	1 男 2 女	1 平成	2 昭和	3 大正	4 明治	年	月	日
17	1 男 2 女	1 平成	2 昭和	3 大正	4 明治	年	月	日
18	1 男 2 女	1 平成	2 昭和	3 大正	4 明治	年	月	日
19	1 男 2 女	1 平成	2 昭和	3 大正	4 明治	年	月	日
20	1 男 2 女	1 平成	2 昭和	3 大正	4 明治	年	月	日

この調査票に記入した患者数

人



指定統計第66号  
患者調査

# 患者調査

厚生労働省

## 一般診療所票

平成26年10月21・22・24日(指定された1日)

記入上の注意

※印刷には、記入しないでください。

※保健所符号	
施設番号	C-
患者番号	

(1) 性別	1 男 2 女	(2) 出生年月日	1 平成 2 昭和 3 大正 4 明治	年 月 日
(3) 患者の住所	1 診療所と同じ都道府県内 2 診療所とは別の都道府県 → <input type="text"/> 都道府県			※都道府県コード
(4) 入院・外来の種別等	入院	入院年月日	1 平成 2 昭和	年 月 日
	院	過去の入院の有無	1 有 → 2 無	退院年月日 平成 年 月 日
		過去の入院の有無 主傷例に関連した貴医療施設における入院であって、退院日から記入院年月日から経って過去30日以内の場合に限る。(退院日が平成の場合のみ)		
外来	初診	1 通院 2 往診	前回診療(訪問)月日 平成 20 年 月 日	
	再来	3 通院 4 往診	5 訪問診療 6 医師以外の訪問	
(5) 受療の状況	1 傷病の診断・治療 2 正常分娩(単胎自然分娩) 3 正常妊娠・産じょくの管理 4 健康者に対する検査、健康診断(産)・管理 5 予防接種 6 その他の保健サービス			
主傷病名については、発症の型(例:急性)、病因(例:前頭体性)、部位(例:胃腸門部がん)、性状(例:病理組織像)等もできるだけ記入してください。  また、複数の傷病に罹患している場合は、閉傷病各欄の中から該当するものすべてを選択してください。  「16 精神疾患」とは、アルツハイマー病を含む認知症、精神作用物質による精神及び行動の障害、統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害、気分(感情)障害、神経症性障害、てんかん。その他の精神及び行動の障害をいいます。(ただし「精神障害」は除きます)	(1) 主傷病名		外傷の原因 (中毒を含む)	
	<input type="text"/>		<input type="text"/>	
	(2) 副傷病名 (該当するものすべてに○印をつけてください。)		主傷病名が外傷(中毒を含む)の場合は、下欄からその原因を該当する番号で1つ記入してください。	
	01 副傷病なし		不慮の事故 故意又は不明	
	02 糖尿病(合併症を伴わないもの)	10 高血圧(症)	① 自動車交通事故 ⑦ 当傷	
	03 糖尿病(性)腎症	11 虚血性心疾患	② 自転車交通事故 ⑧ 他傷	
	04 糖尿病(性)網膜症	12 脳卒中	③ その他の交通事故 ⑨ 不明	
	05 糖尿病(性)神経障害	13 閉塞性末梢動脈疾患	④ スポーツ中の事故	
	06 糖尿病(性)足病変	14 大動脈疾患	⑤ 転倒・転落	
	07 03~06以外の合併症を伴う糖尿病	(大動脈解離、大動脈瘤)	⑥ ①~⑤以外の原因による不慮の事故	
	08 肥満(症)	15 慢性腎不全(慢性腎臓病)		
	09 高脂血症(脂質異常症)	16 精神疾患		
		17 その他の疾患		
(6) 透析治療の状況	1 維持透析治療中 2 その他の透析治療中 3 治療なし 4 不明			
(7) 診療費等支払方法	1 自費診療 (保険外併用療養費を含む) → I (医療保険等)			
該当するものすべてを選択してください。  なお、介護保険サービス利用者で、医療保険等と公費負担医療を併用している場合は、それぞれの欄方について記入してください。	2 医療保険等、公費負担医療	I (医療保険等)		
	3 介護保険 (介護扶助を含む)	II (公費負担医療)		
		01 全国健康保険協会健康保険(本人)	08 退職者医療(本人)	
		02 全国健康保険協会健康保険(家族)	09 退職者医療(家族)	
		03 健康保険組合(本人)	10 高齢者の医療の確保に関する法律	
		04 健康保険組合(家族)	11 労働災害・公務災害	
		05 各種共済組合(本人)	12 自動車損害賠償保障法	
		06 各種共済組合(家族)	13 その他	
		07 国民健康保険		
		14 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律		
		15 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律		
		16 障害者自立支援法		
		17 生活保護法(医療扶助)		
		18 その他の公費負担によるもの		
(8) 紹介の状況	1 病院から 2 一般診療所から 3 歯科診療所から 4 介護老人保健施設から 5 介護老人福祉施設から 6 その他から 7 紹介なし			
(9) 救急の状況	救急 [ 1 救急車により搬送 2 救急外来を受診 3 診療時間外を受診 ] 4 1~3以外			
入院のみ	(10) 病床の種別	1 療養病床(医療保険適用病床) 2 療養病床(介護保険適用病床) 3 一般病床		
	(11) 入院の状況	1 生命の危険は少ないが入院治療、手術を要する 4 検査入院 2 生命の危険がある 5 その他 3 受け入れ条件が整えば退院可能		



指定統計第66号  
患者調査

# 患者調査

歯科診療所票

平成20年10月21・22・24日（指定された1日）

厚生労働省

記入上の注意

※印欄には、記入しないでください。

※保健所符号	
施設番号	D-
患者番号	

(1) 性別	1 男 2 女	(2) 出生年月日	1 平成 2 昭和 3 大正 4 明治	年 月 日														
(3) 患者の住所	1 診療所と同じ都道府県内 2 診療所とは別の都道府県 → <input type="text"/> 都道府県		※都道府県コード <input type="text"/>															
(4) 外来の種別	初診	1 通院 2 訪問診療	前回診療（訪問）月日 平成 20 年 月 日															
	再来	3 通院 4 訪問診療 5 歯科医師以外の訪問																
(5) 傷病名	傷病名（下記の傷病名から、該当するもの1つに○印をつけてください。）																	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>01 う蝕症（C）</li> <li>02 歯髄炎（Pul）、歯髄膿瘍（Pu 膿瘍）、歯髄壊死（Pu 壊死）</li> <li>03 歯根膿瘍（Per）</li> <li>04 歯槽膿瘍（AA）、歯根膿瘍（WZ）</li> <li>05 歯肉炎（G）</li> <li>06 慢性歯周炎（P）</li> <li>07 歯肉腫瘍（GA）、その他の歯周疾患</li> <li>08 習習性歯周炎（Perioc）</li> <li>09 その他の歯及び歯の支持組織の障害</li> <li>10 じょく瘡性潰瘍（Dul）、口内炎（Stom）等</li> <li>11 その他の顎及び口腔の疾患</li> <li>12 歯の補てつ（冠、ブリッジ、有床義歯、インプラント）</li> <li>13 歯科矯正</li> <li>14 外因による損傷</li> <li>15 検査・健康診断（査）及びその他の保健医療サービス</li> </ul>																	
(6) 診療費等支払方法	<p>1 自費診療（保険外併用療養費を含む） → I（医療保険等）</p> <p>2 医療保険等、公費負担医療 → I（医療保険等）</p> <p>3 介護保険（介護扶助を含む） → II（公費負担医療）</p>																	
<p>該当するものすべてを選択してください。</p> <p>なお、介護保険サービス利用者で、医療保険等と公費負担医療を併用している場合は、それらの両方について記入してください。</p>	<table border="0"> <tr> <td>01 全国健康保険協会健康保険（本人）</td> <td>08 退職者医療（本人）</td> </tr> <tr> <td>02 全国健康保険協会健康保険（家族）</td> <td>09 退職者医療（家族）</td> </tr> <tr> <td>03 健康保険組合（本人）</td> <td>10 高齢者の医療の確保に関する法律</td> </tr> <tr> <td>04 健康保険組合（家族）</td> <td>11 労働災害・公務災害</td> </tr> <tr> <td>05 各種共済組合（本人）</td> <td>12 自動車損害賠償保障法</td> </tr> <tr> <td>06 各種共済組合（家族）</td> <td>13 その他</td> </tr> <tr> <td>07 国民健康保険</td> <td></td> </tr> </table> <p>II（公費負担医療）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>14 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律</li> <li>15 障害者自立支援法</li> <li>16 生活保護法（医療扶助）</li> <li>17 その他の公費負担によるもの</li> </ul>				01 全国健康保険協会健康保険（本人）	08 退職者医療（本人）	02 全国健康保険協会健康保険（家族）	09 退職者医療（家族）	03 健康保険組合（本人）	10 高齢者の医療の確保に関する法律	04 健康保険組合（家族）	11 労働災害・公務災害	05 各種共済組合（本人）	12 自動車損害賠償保障法	06 各種共済組合（家族）	13 その他	07 国民健康保険	
01 全国健康保険協会健康保険（本人）	08 退職者医療（本人）																	
02 全国健康保険協会健康保険（家族）	09 退職者医療（家族）																	
03 健康保険組合（本人）	10 高齢者の医療の確保に関する法律																	
04 健康保険組合（家族）	11 労働災害・公務災害																	
05 各種共済組合（本人）	12 自動車損害賠償保障法																	
06 各種共済組合（家族）	13 その他																	
07 国民健康保険																		

# 患者調査

厚生労働省

## 病院退院票

平成20年9月1日～30日

記入上の注意

※印欄には、記入しないでください。

※保健所符号	
施設番号	II-
患者番号	

(1) 性別	1 男 2 女	(2) 出生年月日	1 平成 2 昭和 3 大正 4 明治	年 月 日	
(3) 患者の住所	1 病院と同じ市区町村内 2 病院とは別の市区町村 → <input type="text"/> 都道府県 <input type="text"/> 市 <input type="text"/> 区 <input type="text"/> 町村 <input type="text"/>			※市区町村コード	
(4) 入院・退院年月日	入院年月日	1 平成 2 昭和	年 月 日	退院年月日	
(5) 受療の状況	1 傷病の診断・治療      2 正常分娩(早産自然分娩)      3 正常妊娠・産じよくの管理 4 健康者に対する検査、健康診断(査)・管理      5 その他の保健サービス				
主傷病名については、発病の型(例:急性)、病因(例:細菌性)、部位(例:胃腸部)等、性状(例:病型)等もできるだけ記入してください。  また、複数の傷病に罹患している場合は、副傷病名欄の中から該当するものすべてを記載してください。  「16 精神疾患」とは、アルツハイマー病を含む認知症、精神作用物質による精神及び行動の障害、統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害、気分[感情]障害、神経症性障害、てんかん、その他の精神及び行動の障害をいいます。(ただし「精神障害」は除きます)	(1) 主傷病名		外傷の原因 (中毒を含む) ← 外傷の原因 (中毒を含む) (主傷病名が外傷(中毒を含む)の場合は、下欄からその原因に該当する番号で1つ記入してください)		
	(2) 副傷病名 (該当するものすべてに○印をつけてください)		不慮の事故      故意又は不明 ① 自動車交通事故      ⑦ 自傷 ② 自転車交通事故      ⑧ 他傷 ③ その他の交通事故      ⑨ 不明 ④ スポーツ中の事故 ⑤ 転倒・転落 ⑥ ①～⑤以外の原因による不慮の事故		
(6) がん治療の有無	1 有 → 2 無	1 化学療法	放射線治療 [ 2 体外照射 3 腔内・組織内照射 4 その他 ]		
(7) 手術の有無	1 有 → 2 無	手術日	平成 年 月 日	手術名	
(8) 診療費等支払方法	1 自費診療 (保険外併用療養費を含む)	I (医療保険等) 01 政府管掌健康保険(本人)      08 退職者医療(本人) 02 政府管掌健康保険(家族)      09 退職者医療(家族) 03 健康保険組合(本人)      10 高齢者の医療の確保に関する法律 04 健康保険組合(家族)      11 労働災害・公務災害 05 各種共済組合(本人)      12 自動車損害賠償保障法 06 各種共済組合(家族)      13 その他 07 国民健康保険  II (公費負担医療) 14 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律 15 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律 16 生活保護法(医療扶助) 17 その他の公費負担によるもの			
(9) 病床の種別	精神病床	1 老人性認知症疾患療養病床      5 療養病床(医療保険適用病床) 2 その他の精神病床      6 療養病床(介護保険適用病床) 3 感染症病床      7 一般病床 4 結核病床			
(10) 入院前の場所	家庭	[ 1 当院に通院 2 他の病院・診療所に通院 3 在宅医療(訪問診療・訪問看護等) 4 その他 ] 5 他の病院・診療所に入所 6 介護老人保健施設に入所 7 介護老人福祉施設に入所 8 社会福祉施設に入所 9 その他(新生児・不明等)			
(11) 救急の状況	救急 [ 1 救急車により搬送 2 救急外来を受診 3 診療時間外を受診 ] 4 1～3以外				
(12) 転帰	1 治癒 2 軽快 3 不変 4 悪化 5 死亡 6 その他				
(13) 退院後の行き先	家庭	[ 1 当院に通院 2 他の病院・診療所に通院 3 在宅医療(訪問診療・訪問看護等) 4 その他 ] 5 地域医療支援病院・特定機能病院 6 その他の病院 7 診療所 8 介護老人保健施設に入所 9 介護老人福祉施設に入所 10 社会福祉施設に入所 11 その他(不明等)			





調査名	医療施設調査(医療施設静態調査(以下「静態調査」)及び医療施設動態調査(以下「動態調査」))
URL	<a href="http://www.mhwh.go.jp/toukei/1int/79-1.html">http://www.mhwh.go.jp/toukei/1int/79-1.html</a> <a href="http://www.mhwh.go.jp/toukei/saikin/hw/irvosd/06/tyousa.html">http://www.mhwh.go.jp/toukei/saikin/hw/irvosd/06/tyousa.html</a> <a href="http://www.mhwh.go.jp/toukei/saikin/hw/irvosd/05/tyousa.html">http://www.mhwh.go.jp/toukei/saikin/hw/irvosd/05/tyousa.html</a>
調査の頻度	「静態調査」3年毎 「動態調査」毎月
最新調査年	「静態調査」平成17年 「動態調査」平成18年
調査の目的	この調査は、全国の医療施設(医療法(昭和23年法律第205号)に定める病院・診療所)の分布及び整備の実態を明らかにするとともに、医療施設の診療機能を把握し、医療行政の基礎資料を得ることを目的とする。この調査は、昭和23年に行われた「施設面からみた医療調査」を前身としており、昭和28年に統計法(昭和22年法律第18号)に基づき医療施設調査規則(昭和28年厚生省令第25号)を定め、指定統計(第65号)となった。
調査の沿革	昭和47年までは毎年調査していたが、昭和48年に医療施設調査規則の改正を行い、全医療施設の詳細な実態を把握することを目的とした「医療施設静態調査」を昭和50年から3年ごとに実施するとともに、医療施設から提出される開設・廃止等の届出等に基づき「医療施設動態調査」を毎月実施することとし、現在に至る。
調査の対象及び客体	「静態調査」調査時点で開設している全ての医療施設(医療施設には、往診のみの診療所、沖縄県における介輔診療所を含むが、助産所、介護老人保健施設、保健所は含まない。) 「動態調査」医療法に基づく開設・廃止・変更等の届出を受理又は処分をした医療施設
調査の方法及び系統	「静態調査」医療施設の管理者が自ら調査票に記入する自計方式による。 「動態調査」開設・廃止等の申請・届出に基づいて、都道府県知事又は保健所を設置する市・特別区の長が動態調査票を記入する方式による。
調査の期日及び期間	「静態調査」10月1日現在 「動態調査」10月1日から1年間
調査事項	「静態調査」施設名、施設の所在地、開設者、許可病床数、診療科目、従事者数、看護体制、救急医療体制、在宅医療サービス、主な診療機器・設備、手術等の実施状況、その他関連する事項 「動態調査」施設名、所在地、開設者、許可病床数、診療科目等
結果の集計	厚生労働省大臣官房統計情報部において行った。
調査票等	次ページに添付(平成20年度)
集計宮体数	医療施設総数:177,074(全数調査)
他の調査との関連	
関連情報URL	平成20年に実施される医療施設調査及び患者調査の改正内容(内閣府統計委員会・第5回人口・社会統計部会配布資料): <a href="http://www5.cao.go.jp/statistics/meetings/jinkou/5/siryou/2-3.pdf">http://www5.cao.go.jp/statistics/meetings/jinkou/5/siryou/2-3.pdf</a>
関連出版物	厚生労働省大臣官房統計情報部:医療施設調査病院報告 平成18年上巻 動態調査 全国編 厚生統計協会、2008。 厚生労働省大臣官房統計情報部:医療施設調査病院報告 平成18年下巻 動態調査 都道府県編 厚生統計協会、2008。
関連論文例	柴田匡邦, 田村俊次, 野川裕紀, 高田英明, 島岡一郎, 永田宏, 田中博:近年における勤務医の仕事量の検討。日本医療・病院管理学会誌 2008, 45(2):123-131。 松本邦愛, 田中政信, 前村俊満, 平尾智広, 長谷川敏彦, 長谷川友紀:産科・産婦人科医師の需給と地域偏在に関する研究。病院管理 2007, 44(2):93-103。 古川雅一:喫煙や歯磨き習慣が歯周疾患受療率に与える影響に関する研究。Health Sciences 2007, 23(1):64-70。 阿部幹佳:精神病院で就業する看護者の資格と性別の実態 一般病院との比較から。宮城大学看護学部紀要 2006, 9(1):51-57。

秘

指定統計第65号  
医療施設統計医療施設静態調査  
病院票

厚生労働省

(平成20年10月1日現在)

※ 整理番号									
-----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

※ 保存 簿 所 号					
------------------------	--	--	--	--	--

※ 市区町村 号					
----------------	--	--	--	--	--

注：※印の箇所は、記入しないでください。

(1) 施設 所在地	〒	TEL	(3) 休止・休診の状況
(2) 施設名			1 休 止 中 2 1年以上休診中 3 1年未満休診中

(4) 開設者 01~27のあてはまるものひとつに○ ※の開設者のうち、医療機関は28にも○	(6) 診療科目 あてはまるものすべてに○ 掲げられている科目と、6月中休診していた科目、特定の日のみ開設している科目に○をつけてください。	(7) 患者数		(8) 科目別の医師数 (常勤換算)	
		9月中の 外来患者延数	9/30の 在院患者数	小児科以下層2位四位五入 男性医師	女性医師
01 厚生労働省					
02 独立行政法人国立病院機構					
03 国立大学法人 *					
04 独立行政法人労働者健康福祉機構					
05 その他					
06 都道府県 *					
07 市町村 *					
08 地方独立行政法人 *					
09 日赤					
10 済生会					
11 北海道社会事業協会					
12 厚生連					
13 国民健康保険団体連合会					
14 全国社会保険協会連合会					
15 厚生年金事業協団					
16 船員保険会					
17 健康保険組合及びその連合会					
18 共済組合及びその連合会					
19 国民健康保険組合					
20 公益法人					
21 医療法人					
22 私立学校法人 *					
23 社会福祉法人					
24 医療生協					
25 会社					
26 その他の法人					
27 個人					
28 医療機関(再掲)					
(5) 許可病床数等					
精神病床	床				
感染症病床	床				
結核病床	床				
療養病床	床				
介護保険適用分(再掲)	床				
一般病床	床				
合計	床				
回復期リハビリテーション 病棟(再掲)	一般病床 療養病床	床			
認知症病棟(再掲)	床				
介護保険移行準備病棟(再掲)	床				
老人性認知症疾患療養病棟(再掲)	床				
経過型介護療養型医療施設(再掲)	床				

次ページへ続く

㉔ 診療情報管理の状況		㉕ 在宅医療サービスの実施状況		
オーディオシステム等の導入状況 導入しているもの全てに○		併設施設によるサービスを除く。 実施の有無に○をつけ、9月中の件数を記入してください。		
1 検査	1 有	医療保険等による在宅サービス		
2 放射線	フィルムレス運用 1 完全実施 2 一部実施	1 実施している 2 実施していない		
3 薬剤		往診	01	件
4 栄養		在宅患者訪問診療	02	件
5 導入していない	2 無	歯科訪問診療	03	件
㉖ 電子カルテシステムの導入状況		救急搬送診療	04	件
1 医療機関全体として導入している	活用状況の範囲	在宅患者訪問看護・指導	05	件
2 医療機関内の一部に導入している	1 自施設内	精神科在宅患者訪問看護・指導	06	件
3 具体的な導入予定がある	2 患者へ情報提供	在宅患者訪問リハビリテーション指導管理	07	件
4 導入予定なし	3 他の医療機関等と連携	訪問看護ステーションへの指示書の交付	08	件
	導入予定時期	在宅看取り	09	件
	1 平成20年度	介護保険による在宅サービス		
	2 平成21年度	1 実施している 2 実施していない		
	3 平成22年度	居宅療養管理指導(介護予防サービスを含む)	10	件
	4 平成23年度以降	訪問看護(介護予防サービスを含む)	11	件
		訪問リハビリテーション(介護予防サービスを含む)	12	件
㉗ 遠隔医療システムの導入状況		㉘ 特殊診療設備		
遠隔画像診断	1 有 → 受信 依頼元施設数(施設)	* 施設基準を満たすもののみ記入 * * 総合周産期特定集中治療室管理料の施設基準に掲げられるものを含む。	病床数	9月中の取扱患者数
	2 無 送信 依頼先施設数(施設)	特定集中治療室(ICU) *	01	床 人
遠隔病理診断	1 有 → 受信 依頼元施設数(施設)	脳卒中集中治療室(SCU) *	02	床 人
	2 無 送信 依頼先施設数(施設)	心臓内科集中治療室(CCU)	03	床 人
在宅療養支援	1 有 → 受信 依頼元患者数(人)	新生児特定集中治療室(NICU) **	04	床 人
	2 無	母体・胎児集中治療室(MFICU) *	05	床 人
㉙ 医療安全体制		広範囲偶発特定集中治療室 *	06	床 人
各項目について、あてはまるものひとつに○ * 医療安全に関する体制の責任者について、専任・兼務の別を記入してください。		小児集中治療室(PICU)	07	床 人
責任者の資格と専任・兼務の別	医療安全体制(全般)	無菌治療室(手術室は除く) *	08	床 人
	院内感染防止対策	放射線治療室 *	09	床 人
	医療機器安全管理	外来化学療法室 *	10	床 人
	医薬品安全管理	㉚ 検査等の実施状況		
医師	1	1	1	+ 患者数には手所に伴うものを含む。
歯科医師	2	2	2	骨密度測定
薬剤師	3	3	3	気管支内視鏡検査 *
看護師	4	4	4	上部消化管内視鏡検査 *
診療放射線技師	5	5	5	大腸内視鏡検査 *
臨床検査技師	6	6	6	血管造影
臨床工学技士	7	7	7	DSA(再掲)
その他	8	8	8	循環器DR(再掲)
配置していない	9	9	9	マンモグラフィ
* 専任・兼務	専任	1	1	R I 検査(シンチグラム)
	兼務	2	2	SPECT(再掲)
	医療機器と医薬品安全管理責任者を兼務(再掲)	3	3	PET
				PETCT
院内感染防止対策のための施設内回診の頻度				CT
1 ほぼ毎日	2 週1回以上	3 月2~3回程度		マルチスライスCT
4 月1回程度	5 月1回未満			その他のCT
医療機器安全体制の保守計画の管理				MRI
保守計画の策定	1 一括管理	2 病棟・部門ごと	3 その他	1.5テスラ以上
保守計画の実施	1 一括管理	2 病棟・部門ごと	3 その他	1.5テスラ未満
患者相談担当者の配置の有無				3D画像処理
1 有	2 無			冠動脈CT・心臓MRI(再掲)

裏面へ続く



各項目について、おてはすべて○にしてください					実施数に「再掲」のものを		9月中の患者数		装置の台数	
医療安全に関する体制の責任者は、専任・兼務の別を記入してください					実施数に「再掲」のものを		9月中の患者数		装置の台数	
責任者	責任者の資格と専任・兼務の別	医療安全体制(全般)	院内感染防止対策	医療機器安全管理	医薬品安全管理	骨塩定量測定	01		人	
	医師	1	1	1	1	気管支内視鏡検査 *	02		人	
	歯科医師	2	2	2	2	上部消化管内視鏡検査 *	03		人	
	薬剤師	3	3	3	3	大腸内視鏡検査 *	04		人	
	看護師	4	4	4	4	血管造影	05		人	
	診療放射線技師	5	5	5		DSA(再掲)	06		人	
	臨床検査技師	6	6	6		循環器DR(再掲)	07		人	
	臨床工学技士	7	7	7		マンモグラフィ	08		人	台
	その他	8	8			R I検査(シンチグラム)	09		人	台
	配置していない	9	9			SPECT(再掲)	10		人	台
*専任・兼務	専任	1	1	1	1	PET	PET	11	人	台
	兼務	2	2	2	2	PETCT	PETCT	12	人	台
医療機器と医薬品安全管理責任者を兼務(再掲)					3	CT	マルチスライスCT	13	人	台
						CT	その他のCT	14	人	台
院内感染防止対策のための施設内回診の頻度						MRI	1.5テスラ以上	15	人	台
1 ほぼ毎日 2 週1回以上 3 月2~3回程度						MRI	1.5テスラ未満	16	人	台
4 月1回程度 5 月1回未満						3D画像処理		17	人	
患者相談担当者の配置の有無							冠動脈CT・心臓MRI(再掲)	18	人	
1 有 2 無										
1 歯科診療台 ( 台)						全身麻酔(静脈麻酔は除く)	01			件
2 パノラマX線装置						内視鏡下消化管手術	02			件
3 オートクレーブ						悪性腫瘍手術	03			件
4 生体モニター						胃がん(再掲)	04			件
5 超音波歯石除去器						胆嚢がん(再掲)	05			件
6 口腔内画像処理システム						大腸がん(再掲)	06			件
7 吸入鎮静装置						前立腺がん(再掲)	07			件
						乳がん(再掲)	08			件
						子宮がん(再掲)	09			件
						外来化学療法	10			件
医療保険等による在宅サービス 1 実施している 2 実施していない						人工透析				件
往診	01					(人工透析装置の台数)	11			台
在宅患者訪問診療	02					分娩(正常分娩を含む)	12			件
歯科訪問診療	03					帝王切開娩出術(再掲)	13			件
救急搬送診療	04					分娩の取扱				
在宅患者訪問看護・指導	05					1 取り扱っている				
精神科在宅患者訪問看護・指導	06					↳ 担当医師数(常勤換算) ( . 人)				小数点以下第2位四捨五入
在宅患者訪問リハビリテーション指導管理	07					↳ 担当助産師数(常勤換算) ( . 人)				
訪問看護ステーションへの指示書の交付	08					2 取り扱っていない				
在宅看取り	09									
介護保険による在宅サービス 1 実施している 2 実施していない						患者数は、照射線の枚数又は検査依頼を元に記入してください。		9月中の患者数		装置の台数
居宅療養管理指導(介護予防サービスを含む)	10					放射線治療(体外照射)	1	人		
訪問看護(介護予防サービスを含む)	11					ガンマナイフ・サイバーナイフ(再掲)	2	人	台	
訪問リハビリテーション(介護予防サービスを含む)	12					放射線治療(腔内・組織内照射)	3	人		
在宅療養支援診療所の届出 いずれかに○ 施設数には自施設を含む。										
1 有						9月中の処方数				
↳	連携保険医療機関等の数 ( 施設)					外来患者への処方数(9月中の延回数)	院内処方数			回
	受け持つ在宅療養患者の数 ( 人)						院外処方せん交付数			回
2 無						医療用麻薬の処方	1 有 2 無			

裏面へ続く



医療施設動態調査票

(1) 保健所番号	(2) 整理番号	(3) 市区町村符号					
(4) 届出受理又は処分等年月日	年 月 日						
処分等	1 新規開設 2 休止 3 廃止 4 再開 5 開設許可取消						
	6 変更 [ 1 施設名 2 開設者 3 地域医療支援病院 4 救急告示(病院のみ) 5 診療科目(病院のみ) 6 許可病床数						
フリガナ							
(5) 施設名							
フリガナ							
(6) 施設の所在地							
(7) 開設者	(10) 診療科目	01 内 科	(11) 許可病床数	精神	床		
		02 呼吸器内科		感染症	床		
		03 循環器内科		結核	床		
		04 消化器内科(胃腸内科)		療養	床		
		05 腎臓内科		一般	床		
		06 神経内科		計	床		
		07 糖尿病内科(代謝内科)		(12) 従事者数	医師		
		08 血液内科			歯科医師		
		09 皮膚科			薬剤師		
		10 アレルギー科			看護師		
		11 リウマチ科			准看護師		
		12 感染症内科			歯科衛生士		
		13 小児科			(13) 社会保険診療等の状況	01 保険医療機関	
		14 精神科				02 自由診療のみ	
		15 心療内科			(14) 備考		
		16 外科					
		17 呼吸器外科					
		18 循環器外科(心臓・血管外科)					
		19 乳腺外科					
		20 気管食道外科					
		21 消化器外科(胃腸外科)					
		22 泌尿器科					
		23 肛門外科					
		24 脳神経外科					
		25 整形外科					
		26 形成外科					
		27 美容外科					
		28 眼耳鼻いんこう科					
29 小児科							
30 産婦人科							
31 産科							
32 産婦人科							
33 産科							
34 リハビリテーション科							
35 放射線科							
36 麻酔科							
37 病理診断科							
38 臨床検査科							
39 救急科							
40 歯科							
41 矯正歯科							
42 小児歯科							
43 歯科口腔外科							
(8) 地域医療支援病院	1 然 2 否						
(9) 救急告示	1 然 2 否						
28 医療機関(再掲)							

日本工業規格 A 列 4 番

注 1 新規開設の場合は、すべての項目について記入のこと。  
 2 休止・廃止・再開・開設許可取消の場合は、(1)(2)(4)(5)の各項目についてのみ記入のこと。  
 3 変更の場合は、(1)(2)(4)(5)の各項目及び(7)~(11)のうち変更のあった項目についてのみ記入のこと。

調査名	医師・歯科医師・薬剤師調査
調査概要URL	<a href="http://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/ishi/06/index.html">http://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/ishi/06/index.html</a>
調査の頻度	2年毎
最新調査年	2008
調査の目的	この調査は、医師、歯科医師及び薬剤師について、性、年齢、業務の種別、従事場所及び診療科名(薬剤師を除く。)等による分布を明らかにし、厚生労働行政の基礎資料を得ることを目的とするものであり、昭和57年までは毎年、同年以降は2年ごとに実施している。
調査の沿革	
調査の対象及び客体	我が国に住所があつて、医師法第6条第3項により届け出た医師、歯科医師法第6条第3項により届け出た歯科医師及び薬剤師法第9条により届け出た薬剤師の各届出票を調査の客体とした。
調査の方法及び系統	届出義務者である医師、歯科医師及び薬剤師から提出された届出票を、保健所でとりまとめ厚生労働大臣に提出する。
調査の期日及び期間	平成18年12月31日現在(平成17年1月16日より平成19年1月15日まで)
調査事項	(1)住所(2)性(3)生年月日(4)登録年月日等(5)業務の種別(6)主たる業務内容(薬剤師を除く。) (7)従事先の所在地(8)従事する診療科名(薬剤師を除く。)
結果の集計	厚生労働省大臣官房統計情報部において行った。
調査票等	次ページに添付(平成20年度)
集計客体数	医師:277,927人、歯科医師97,198人、薬剤師252,533人
他の調査との関連	
関連情報URL	医師・歯科医師・薬剤師の皆様へ届出のお願い(厚生労働省): <a href="http://www.mhlw.go.jp/topics/2008/11/tp1117-1.html">http://www.mhlw.go.jp/topics/2008/11/tp1117-1.html</a>
関連出版物	厚生労働省大臣官房統計情報部編:医師・歯科医師・薬剤師調査 平成18年、厚生統計協会、2008。
関連論文例	小池創一、勝村裕一、児玉知子、井出博生、康永秀生、松本伸哉、今村知明:診療所勤務医の状況の変化と多相生命表の原理を用いた医師数の将来推計について、厚生労働 2008、55(11):22-28。 大川由一、石郷岡友美、鈴鹿裕子:千葉県における歯科医療従事者の地理的分布、千葉県立衛生短期大学紀要2008、26(2):33-38。 厚生労働省大臣官房統計情報部人口動態・保健統計課保健統計室保健医療統計係:平成18年 医師・歯科医師・薬剤師調査の概況、医療労働 2008、501:33-43。 島田直樹、近藤健文:医師・歯科医師・薬剤師調査の個票データを使用した届出率の推計、日本公衆衛生雑誌 2004、51(2):117-132。



医

医

## 医師届出票

第二号書式（第六条関係）

（平成20年12月31日現在）

(1) 住所	〒□□□□-□□□□ 都道府県 市区町村 番地 番号				
(2) 氏名	ふりがな			電話	市外局番 ( — — )
(3) 性別	1 男 ・ 2 女		(4) 生年月日	1 平成 2 昭 3 和 4 明	年 月 日
(5) 医登録番号	第	号	(6) 医年 月 日	1 平成 2 昭 3 和 4 明	年 月 日
(7) 主に従事している施設及び業務の種別	施設の種別		業務の種別		
	診療所		1 診療所の開設者又は法人の代表者 2 診療所の勤務者		
	病院 (医育機関附属の病院を除く。)		3 病院の開設者又は法人の代表者 4 病院の勤務者		
	医育機関		5 医育機関の臨床系の教官又は教員 6 医育機関の臨床系の勤務者で5以外の者又は大学院生 (医員、臨床研修医、臨床系の大学院生、その他) 7 医育機関の臨床系以外の勤務者又は大学院生		
	介護老人保健施設		8 介護老人保健施設の開設者又は法人の代表者 9 介護老人保健施設の勤務者		
	上記以外の施設		10 医育機関以外の教育機関又は研究機関の勤務者 11 行政機関の従事者 12 10及び11以外の産業医 13 上記以外の保健衛生業務の従事者		
その他		14 その他の業務の従事者 15 無職の者			
(8) 主たる業務内容	最も長時間従事している業務内容を○で囲むこと。 1 診療 2 教育・研究 3 管理 4 産業医業務 5 その他				
(9) 従事先の名称	ふりがな			電話	市外局番 ( — — )
(10) 従事先の所在地	〒□□□□-□□□□ 都道府県 市区町村				
(11) 従事する診療科名等	I 01内科 02呼吸器内科 03循環器内科 04消化器内科(胃腸内科) 05腎臓内科 06神経内科 07糖尿病内科(代謝内科) 08血液内科 09皮膚科 10アレルギー科 11リウマチ科 12感染症内科 13小児科 14精神科 15心療内科 II 16外科 17呼吸器外科 18循環器外科(心臓・血管外科) 19乳腺外科 20気管食道外科 21消化器外科(胃腸外科) 22泌尿器科 23肛門外科 24脳神経外科 25整形外科 26形成外科 27美容外科 28眼科 29耳鼻いんこう科 30小児外科 31産婦人科 32産科 33婦人科 III 34リハビリテーション科 35放射線科 36麻酔科 37病理診断科 38臨床検査科 39救急科 IV 40臨床研修医 41全科 V 42その他 ( )				主たる診療科名の番号(1つ) : : :
(12) 本届出票の活用に対する同意確認	各都道府県における医師確保対策の検討等に活用するため、本届出票に記載した情報の全部又は一部を、従事先の所在地の都道府県に提供されることに同意する場合には、右欄に○を付けること。				同意欄
(13) 備考					

提出期限  
翌年1月15日



# 歯科医師届出票

第二号書式（第六条関係）

（平成20年12月31日現在）

(1) 住 所	〒□□□□-□□□□□			都道 市 区 町 村	番地 番 号	
(2) 氏 名	ふりがな			電 話	市外局番	( — — )
(3) 性 別	1 男 ・ 2 女	(4) 生 年 月 日			1 平成 2 昭和 3 大正 4 明治	年 月 日
(5) 歯科医籍番号	第	号	(6) 歯科医籍日			1 平成 2 昭和 3 大正 4 明治
(7) 主に従事している施設及び業務の種別	施設の種別	業務の種別				
	診療所	1 診療所の開設者又は法人の代表者 2 診療所の勤務者				
	病院 <small>(医育機関附属の病院を除く。)</small>	3 病院の開設者又は法人の代表者 4 病院の勤務者				
	医育機関	5 医育機関の臨床系の教員又は教員 6 医育機関の臨床系の勤務者で5以外の者又は大学院生 <small>(医員、臨床研修医、臨床系の大学院生、その他)</small> 7 医育機関の臨床系以外の勤務者又は大学院生				
	介護老人保健施設	8 介護老人保健施設の開設者又は法人の代表者 9 介護老人保健施設の勤務者				
	上記以外の施設	10 医育機関以外の教育機関又は研究機関の勤務者 11 行政機関の従事者 12 上記以外の保健衛生業務の従事者				
	その他	13 その他の業務の従事者 14 無職の者				
(8) 主たる業務内容	最も長時間従事している業務内容を○で囲むこと。					
	1 診療		2 教育・研究		3 管理 4 その他	
(9) 従事先の名称	ふりがな			電 話	市外局番	( — — )
(10) 従事先の所在地	〒□□□□-□□□□□			都道 市 区 町 村	府県 郡 村	
(11) 従事する診療科名等	1 歯科 2 矯正歯科 3 小児歯科 4 歯科口腔外科 5 臨床研修歯科医				主たる診療科名の番号（1つ）	
(12) 備 考						

提出期限  
翌年1月15日



# 薬 劑 師 届 出 票

様式第六(第七条関係)

(平成20年12月31日現在)

(1) 住 所	〒□□□□-□□□□□			都 道 市 町 番地 府 県 郡 区 村 番 号
(2) 氏 名	ふりがな		電 話	市外局番 ( — — )
(3) 性 別	1 男 ・ 2 女	(4) 生 年 月 日	1 平成 2 昭和 3 大正 4 明治	年 月 日
(5) 薬 劑 師 名 簿 登 録 番 号	第	号	(6) 薬 劑 師 名 簿 登 録 年 月 日	1 平成 2 昭和 3 大正 4 明治
(7) 主 に 従 事 し て いる 施 設 及 び 業 務 の 種 別	施設の種別	業 務 の 種 別		
	薬局	1 開設者又は法人の代表者 2 勤務者		
	病院・診療所	3 調剤 4 検査 5 その他		
	大学	6 勤務者(研究・教育) 7 大学院生又は研究生		
	医薬品関係企業	8 医薬品製造販売業・製造業(研究・開発・営業、その他) 9 医薬品販売業(薬種商を含む。)		
	上記以外の施設	10 衛生行政機関又は保健衛生施設の従事者		
業務の種別の1から12までのうち一つを○で囲むこと。	その他	11 その他の業務の従事者 12 無職の者		
(8) 従 事 先 の 名 称	ふりがな		電 話	市外局番 ( — — )
(9) 従 事 先 の 所 在 地	〒□□□□-□□□□□			都 道 市 町 番地 府 県 郡 区 村 番 号
(10) 備 考				

提 出 期 限  
翌年1月15日

調査名	国民健康・栄養調査
調査概要URL	<a href="http://www.mhlw.go.jp/bunseki/kenkou/eiyousu.html">http://www.mhlw.go.jp/bunseki/kenkou/eiyousu.html</a> <a href="http://www.dhik.mhlw.go.jp/toukei/kouhvo/index-kousai.html#kou14">http://www.dhik.mhlw.go.jp/toukei/kouhvo/index-kousai.html#kou14</a>
調査の頻度	毎年
最新調査年	平成19年(最新の報告書公表年)
調査の目的	この調査は、健康増進法(平成14年法律第103号)に基づき、国民の身体の状態、栄養素等摂取量及び生活習慣の状況を明らかにし、国民の健康の増進の総合的な推進を図るための基礎資料を得ることを目的とする。
調査の沿革	国民健康・栄養調査は、第二次世界大戦後の昭和20年に、各国から食料援助を受けるのに必要な基礎データを得るために、連合軍最高司令部(GHQ)の指令に基づいて実施されたのが原型である。昭和27年には栄養改善法が制定されて、国民の健康状態や栄養素摂取量を把握する役割を担う国民健康調査が実施されるようになった。平成15年からは健康増進法(平成14年法律第103号)に基づき、国民の身体の状態、栄養素等摂取量及び生活習慣の状況を明らかにし、国民の健康の増進の総合的な推進を図るための基礎資料を得ることを目的とした国民健康・栄養調査となり、現在に至っている。平成18年調査では「メタボリックシンドロームの認知度」などについても調査された。
調査の対象及び客体	調査の対象は、平成18年国民生活基礎調査において設定された調査地区内の世帯の世帯員で、平成18年11月1日現在で満1歳以上の者とした。 調査の客体は、平成18年国民生活基礎調査において設定された調査地区から、層化無作為抽出した300単位区内の世帯及び世帯員とした。
調査の方法及び系統	1)身体状況調査: 調査対象者を会場に集めて、調査員である医師、管理栄養士、保健師等が調査項目の計測及び問診を実施した。 2)栄養摂取状況調査: 世帯毎に調査対象者が摂取した食品を秤量記録することにより実施し、調査員である管理栄養士等が調査票の説明、回収及び確認を行った。 3)生活習慣調査: 留め置き法による自記式質問紙調査を実施した。 調査系統は次のとおりである。 厚生労働省一都道府県・政令市・特別区一保健所一国民健康・栄養調査員
調査の期日及び期間	1)身体状況調査: 平成18年11月 2)栄養摂取状況調査: 平成18年11月の特定の1日(日曜日及び祝日は除く) 3)生活習慣調査: 栄養摂取状況調査日と同日
調査事項	1)身体状況調査票 ア. 身長、体重(満1歳以上) イ. 腹囲 (満6歳以上) ウ. 血圧(満15歳以上) エ. 血液検査(満20歳以上) オ. 1日の運動量(歩行数)(満15歳以上) カ. 問診(服薬状況、運動)(満20歳以上) キ. 開眼片足立ち(満40歳以上) 2)栄養摂取状況調査票(満1歳以上) 世帯員各々の食品摂取量、栄養素等摂取量、食事状況(欠食・外食等) 3)生活習慣調査票(満6歳以上) 食生活、身体活動・運動、休養(睡眠)、飲酒、喫煙、歯の健康等に関する生活習慣全般を把握した。特に平成18年調査では、健康日本21における「身体活動・運動」分野推進の基礎データとするため、身体活動・運動に関する知識、態度、行動について把握するとともに、医療制度改革にあたり都道府県健康増進計画に新たに位置づける項目として「健診受診率、保健指導実施率、医療機関受診率」及び食育推進基本計画の目標値に関する項目として「メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)の認知度」等についても把握した。
結果の集計	次ページに添付(平成15年度)
調査票等	調査実施世帯数は、3,599世帯である。
集計客体数	平成18年国民生活基礎調査において設定された調査地区から、層化無作為抽出した300単位区内の世帯及び世帯員とした。
他の調査との関連	国立健康・栄養研究所 国民健康・栄養調査プロジェクト: <a href="http://www.nih.go.jp/eken/programs/ekisaku_kokumin.html">http://www.nih.go.jp/eken/programs/ekisaku_kokumin.html</a> 糖尿病ネットワーク: <a href="http://www.dni-net.co.jp/calendar/2008/05/008893.php">http://www.dni-net.co.jp/calendar/2008/05/008893.php</a> ニュートリションニュース: <a href="http://www.danone-institute.gr.jp/nutrition/MMVol.36-3.html">http://www.danone-institute.gr.jp/nutrition/MMVol.36-3.html</a> 東京都民の健康・栄養状況 (平成16年国民健康・栄養調査 東京都・区実施分集計結果): <a href="http://www.metro.tokyo.jp/INET/CHOUSA/2005/10/DATA/60fa3101.pdf">http://www.metro.tokyo.jp/INET/CHOUSA/2005/10/DATA/60fa3101.pdf</a>
関連情報URL	健康・栄養情報研究会: 国民健康・栄養の現状 平成17年 平成17年厚生労働省国民健康・栄養調査報告より、第一出版、2008。 由田克士: 平成18年 国民健康・栄養調査の概要を読む 特定健診・特定保健指導の視点から、食生活 2008, 102(8): 89-95。 清野富久江: 「子どもたちのための「食育」最新知識」食育のための基本的知識 最近の「乳幼児栄養調査」「国民健康・栄養調査」からみる小児の食生活、小児内科 2008, 40(9): 1443-1448。 安藤雄一: 歯の健康力 歯と栄養 平成16年国民健康・栄養調査の結果から、FOOD Style 21 2008, 12(5): 23-26。 矢島鉄也: 「メタボリックシンドローム 現状とその課題」国民健康・栄養調査から見た国民の健康課題と新たな健診・保健指導、公衆衛生 2007, 71(3): 200-205。
関連出版物	健康・栄養情報研究会: 国民健康・栄養の現状 平成17年 平成17年厚生労働省国民健康・栄養調査報告より、第一出版、2008。
関連論文	由田克士: 平成18年 国民健康・栄養調査の概要を読む 特定健診・特定保健指導の視点から、食生活 2008, 102(8): 89-95。 清野富久江: 「子どもたちのための「食育」最新知識」食育のための基本的知識 最近の「乳幼児栄養調査」「国民健康・栄養調査」からみる小児の食生活、小児内科 2008, 40(9): 1443-1448。 安藤雄一: 歯の健康力 歯と栄養 平成16年国民健康・栄養調査の結果から、FOOD Style 21 2008, 12(5): 23-26。 矢島鉄也: 「メタボリックシンドローム 現状とその課題」国民健康・栄養調査から見た国民の健康課題と新たな健診・保健指導、公衆衛生 2007, 71(3): 200-205。